



国土交通省

知と文化を誇り力強く躍動する関西

～ 近畿圏広域地方計画（概要版）～

近畿圏広域地方計画推進室

〒540-8586 大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎第1号館
近畿地方整備局 ☎06-6942-1141(代表)

HP <http://www.kkr.mlit.go.jp/kokudokeikaku/>

平成21年10月第一版
平成22年2月第二版

近畿圏広域地方計画とは

近畿圏広域地方計画は、国土形成計画法に基づき、近畿圏（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）を対象に作成した概ね10ヶ年間の計画であり、人口減少・高齢化時代や国際競争が激化する時代にあっても自立的に発展できる「知と文化を誇り力強く躍動する関西」を目指すものです。

本計画の決定まで、近畿圏広域地方計画協議会等において、2年以上の歳月をかけて協議を重ねてきました。計画のとりまとめにあたり、協議会等の開催とともに、学識者会議、市町村からの計画提案、パブリックコメントを通じ、地域の声をできる限り反映しています。

1 国土づくりのあゆみ

■時代背景

- 三大都市圏への人口集中
(昭和30～45)・・・高度経済成長、都市化の進展
一次産業 → 二次産業へのシフト
(昭和30～45) (41%→19%) (23%→34%)
- 地方の時代(昭和50年～地方分散の兆し)
(昭和45～55)
- 東京一極集中
(昭和55～63)・・・東京への国内機能
国際機能 }の集中
- 集中の沈静化
(平成元～5)
- 東京への再一極集中化
(平成5～)

■国土計画

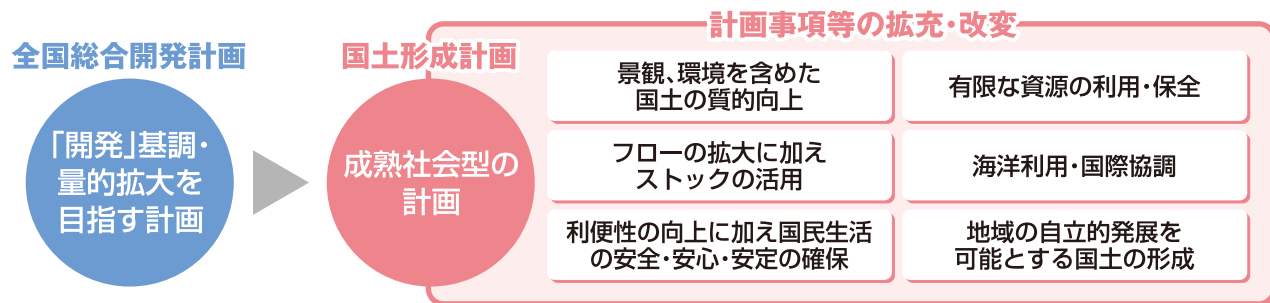
- 昭和30 全総 地域格差是正
(地域間の均衡ある発展)
拠点開発構想(新産・工特)
- 昭和44 新全総 大規模プロジェクト構想
- 昭和52 3全総 定住構想
- 昭和62 4全総 多極分散型国土構造
交流ネットワーク構想(14,000km)
- 平成10 21世紀の国土の
ランドデザイン [多軸型国土構造
参加・連携]

昭和37年に全国総合開発計画が策定されて以来、国土づくりは国の主導による均衡ある国土の発展を目指してきました。しかし、人口減少や少子・高齢化が急速に進む今日、開発を基調とした量的拡大型の計画は時代に合わなくなり、国土計画制度の抜本的な見直しが必要となりました。
このため平成17年7月、国土総合開発法が国土形成計画法に改正され、全国計画と広域地方計画の二層からなる計画体系に再編されました。



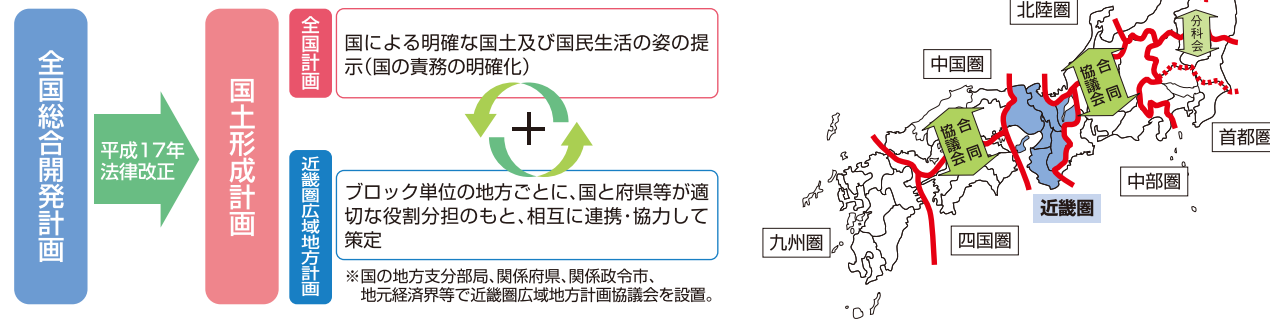
2 開発中心から質重視への転換

地域経済や雇用が悪化し、人口減少や少子・高齢化が加速する中、これまでの開発基調、量的拡大を目指す全国総合開発計画では対応することはできません。そこで成熟社会にふさわしく国土の質的向上を目指し、国土の利用と保全を重視した質重視の国土形成計画へ転換します。



3 国と地方が連携、協力した計画づくり

近畿圏広域地方計画の策定にあたっては、国の関係機関や府県、指定都市、経済団体などが適切に役割を分担し、相互に連携・協力しています。また計画推進にあたり近畿圏に隣接する区域についても計画に盛り込み、広域的な課題の解決を図るとともに、関係市町村や住民のご意見を反映して、様々な立場の人々の参加による国・地域づくりを目指します。



INDEX

関西の特徴と課題	P3～6
近畿圏広域地方計画 構成	P7・8
文化首都圏プロジェクト	P9・10
関西の魅力巡りプロジェクト	P11・12
次世代産業を創造する「知の拠点」プロジェクト	P13
大阪湾バイエリア再生プロジェクト	P14
広域物流ネットワークプロジェクト	P15・16
CO ₂ 削減と資源循環プロジェクト	P17・18
水と緑の広域ネットワークプロジェクト	P19・20
関西を牽引する賑わい創出プロジェクト	P21
農山漁村活性化プロジェクト	P22
広域医療プロジェクト	P23
広域防災・危機管理プロジェクト	P24
計画の効果的推進	P25
計画策定までの経緯	P26

こちらから近畿圏広域地方計画の全文等をダウンロードできます。
近畿圏広域地方計画HP <http://www.kkr.mlit.go.jp/kokudokeikaku/>

関西の特徴と課題

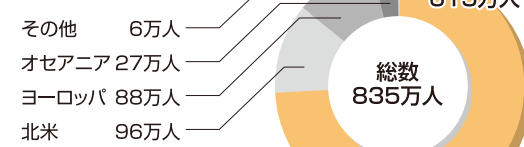
日本文化に対する関心の 高まりと広域観光への期待

近年、海外において日本の歴史・文化や、ポップカルチャー等の新しい文化への関心が高まり、日本を訪問する外国人は増加しています。

さらに観光需要を拡大させるため、広域的な観光戦略を描き、各地の優れた観光資源を有機的に結びつけ、関西の魅力を世界へ発信していく必要があります。

アジアからの観光客が大半を占める

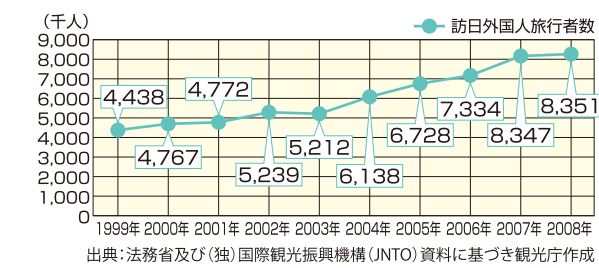
●国籍別の訪日外客数(2008年)



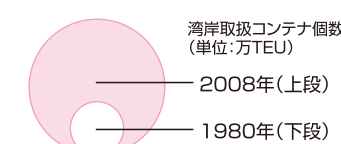
出典：(独)国際観光振興機構 (JNTO)「訪日外客統計」

増加する外国人観光客

●訪日外客数の推移



●アジア主要湾のコンテナ取扱量



※1 大阪港、神戸港の合計。数字は2007年のもの。
※2 東京港、横浜港の合計。

出典：CONTAINERISATION INTERNATIONAL YEARBOOK1982, 2009 March 2009 CONTAINERISATION INTERNATIONAL

東アジア地域の台頭

近年、東アジア地域では急速な経済成長が進んでおり、アジアのハブ(交通結節点)を目指した港湾・空港の機能強化を進めているため、貨物取扱量は急増しています。しかし一方で、関西国際空港については、航空需要が伸び悩んでおり、また阪神港(大阪港・神戸港等)については基幹航路の東アジアへの移行により、寄港する基幹航路数がさらに減少する可能性が指摘されています。

このため、関西の港湾・空港の国際競争力を高め、東アジアの活力を取り込んでいくことが必要です。

東アジア港湾の発展と日本港湾の地位低下

●コンテナ取扱量ランキング(1980年) 単位:万TEU

1	ニューヨーク/ニュージャージー	195
2	ロッテルダム	190
3	香港	146
4	神戸	146
5	高雄	98
6	シンガポール	92
7	サンファン	85
8	ロングビーチ	83
9	ハンブルグ	78
10	オークランド	78

●コンテナ取扱量ランキング(2008年) 単位:万TEU

1(1)	シンガポール	2,992
2(2)	上海	2,798
3(3)	香港	2,425
4(4)	深圳	2,141
5(5)	釜山	1,343
6(7)	ドバイ	1,183
7(11)	寧波-舟山	1,123
8(12)	広州	1,100
9(6)	ロッテルダム	1,080
10(10)	青島	1,032

12	横浜	72
16	釜山	63
18	東京	63
39	大阪	25
46	名古屋	21
24(24)	東京	427
29(28)	横浜	349
※(35)	名古屋	290
※(44)	神戸	247
※(46)	大阪	231

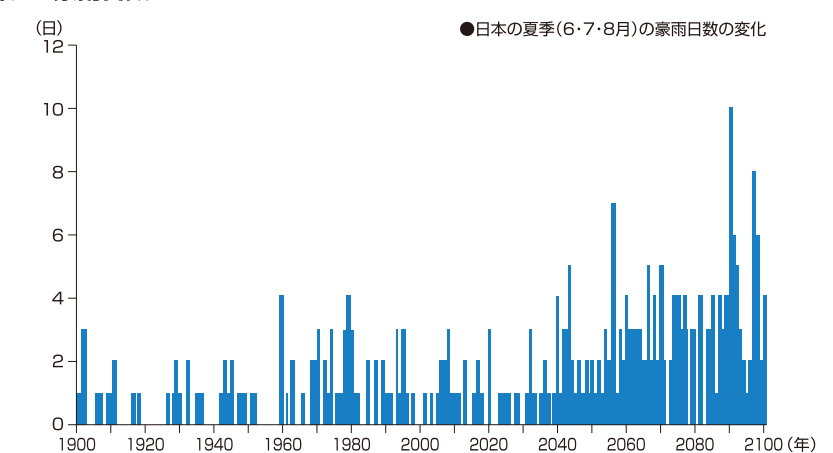
出典：CONTAINERISATION INTERNATIONAL YEARBOOK1982, 2009 March 2009 CONTAINERISATION INTERNATIONAL ()内は2007年の数字。 ※の取扱量は2007年の数字

深刻化する地球規模の環境問題

海面上昇、豪雨頻度増加など、地球温暖化は深刻な問題となっています。関西の温室効果ガス排出量は、平成2年(1990年)に比べて平成14年(2002年)では減少しているものの、経済社会規模が大きいため、依然として多くのCO₂を排出しています。

このため、エネルギー産業等の集積を活かすと共に、官民の主体的な取組を一層進め、温室効果ガス排出削減の先進圏域となる取組が求められています。

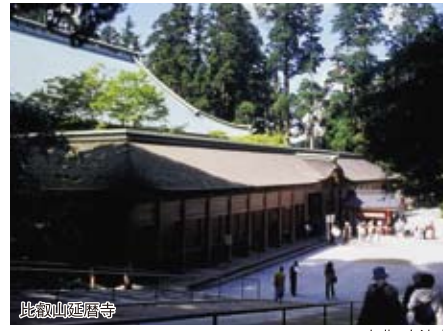
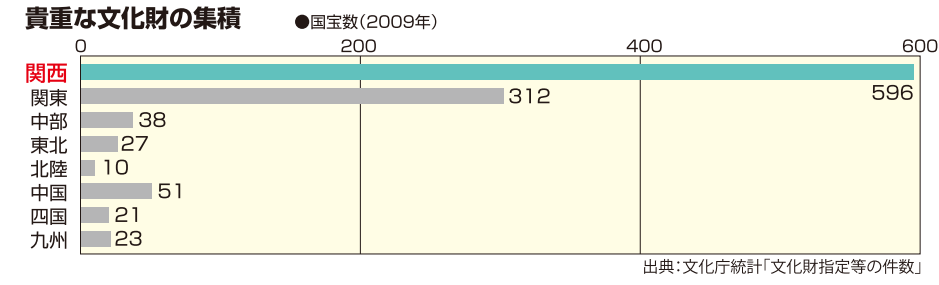
増加する豪雨日数



出典：国立大学法人東京大学気候システム研究センター、独立行政法人国立環境研究所、独立行政法人海洋研究開発機構地球環境フロンティア研究センターの合同研究チームによる計算結果(2004)

関西の特徴と課題

いにしへの歴史が息づく関西



大都市における都市機能・都市環境の充実

阪神なんば線の開業、高速道路網の充実など、新たな人や物の流れを創出する基盤整備が進む一方、交通渋滞慢性化、都市内緑地の不足などまだまだ多くの課題を抱えています。こうした問題を早期に改善し、圏域全体の成長を牽引できる活力を備えることが不可欠です。



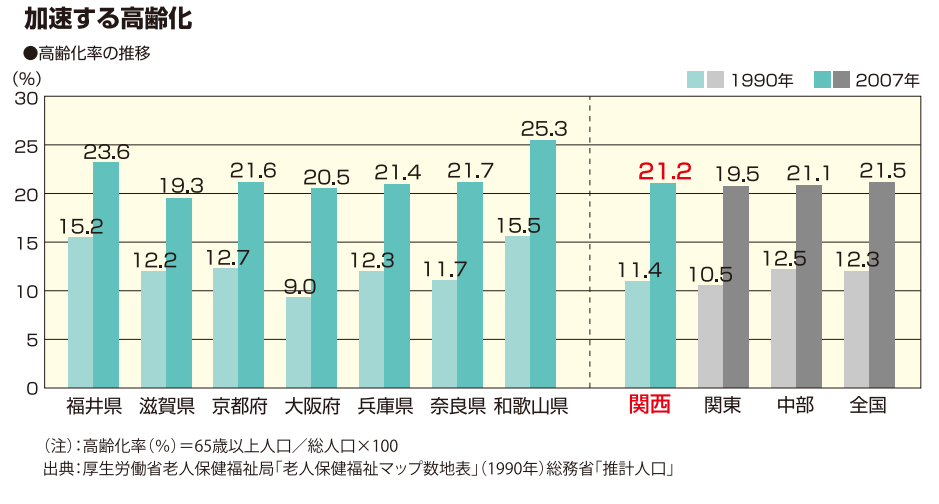
地方都市の活力と農山漁村の集落機能の低下

地方都市における商店街の空店舗の増加などによる空洞化の進行、農山漁村における過疎化・高齢化の進展、耕作放棄地の増加など、集落機能は一層低下しています。今後は、地方都市と大都市とのつながり・連携を強化することが重要です。



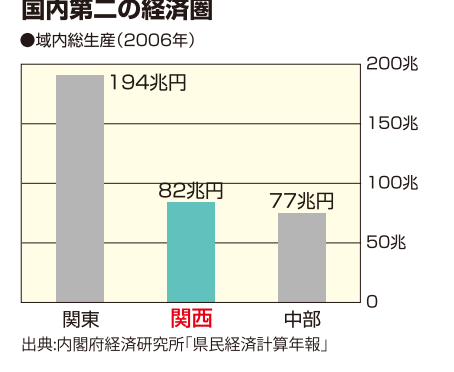
人口減少、高齢化の進展

関西は、三大都市圏の中でも人口減少や高齢者人口の増加が最も急速に進むと予想されています。一部地域ではその傾向が顕著に出ており、関西全体で人口流出は続き、平成17年(2005年)を頂点に人口減少が続いています。

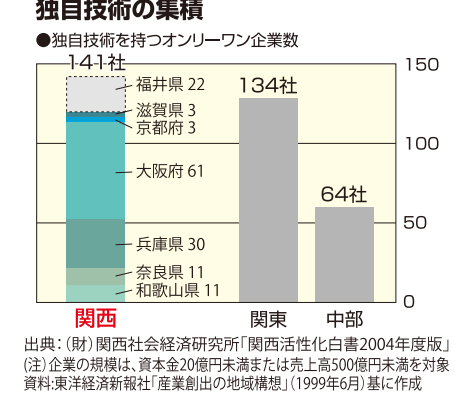


産業などの諸機能の集積が進んだ関西

関西における域内総生産額は先進国一に誇っています。また独自の技術をもつ「オンリーワン」の期待は高まっています。しかし一方で、東京一極集中構造が進む中で業集積と技術力を最大限に活かし、経済の活力を維持・向上させることが重要です。

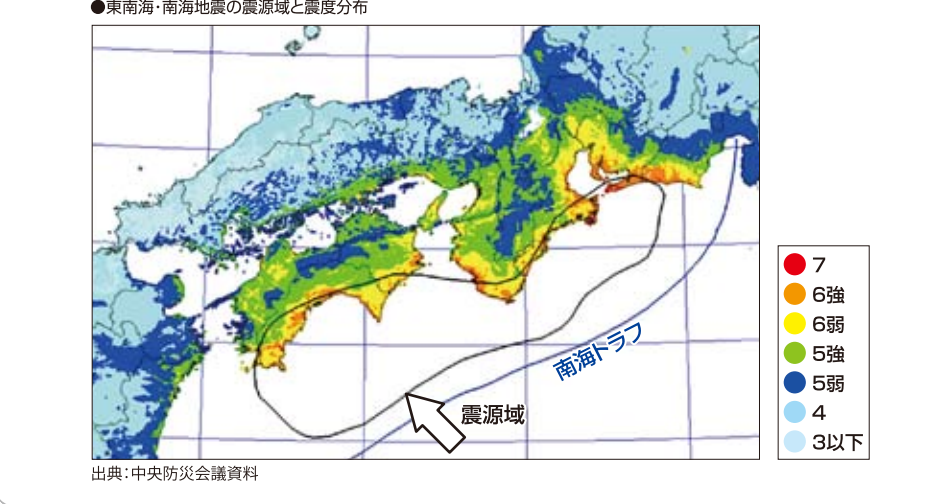


匹敵する経済規模を有し、国内第二の経済圏をワン企業」や「パネルベイ」の形成など、関西経済の期待は高まっています。関西の地位は相対的に低下しており、関西の産力を維持・向上させることが重要です。



災害の危険性増大への対応

関西は東南海・南海地震や高潮によるゼロメートル地帯の被災など、様々な災害発生の危険性を抱えています。このため、阪神・淡路大震災での経験・教訓を活かした広域的な体制づくりを含め、総合的な防災対策に取り組むことが必要です。



近畿圏広域地方計画 構成



関西の目指す姿と戦略

<p>1 歴史・文化に誇りを持って本物を産み育む圏域</p> <p>1. 「本物」を産み育むための共通理念の確立 2. 歴史・文化資産の継承・活用 3. 広域観光・国際観光の圏域形成</p>	
<p>2 多様な価値が集積する日本のもう一つの中心圏域</p> <p>1. 圏域全体での総合的な経済力の向上 2. アジア・世界への情報発信力の強化 3. 「文化首都圏」としての取組の推進 4. 隣接圏域との連携強化による大関西圏の実現 5. 首都圏の有する諸機能のバックアップ</p>	
<p>3 アジアを先導する世界に冠たる創造・交流圏域</p> <p>1. 次世代産業の育成 2. 国内外の産業拠点間の連携 3. 大阪湾ベイエリアの機能強化と再配置 4. アジア・ゲートウェイを担う陸・海・空の交通網の強化 5. 創造性豊かな人材の育成・交流拠点の形成</p>	
<p>4 人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域</p> <p>1. 地球温暖化対策の推進 2. 都市環境の改善 3. 循環型社会の構築 4. 健全な流域圏と生態系の管理・再生 5. 自然との共生の推進 6. 環境・エネルギー技術での世界貢献</p>	
<p>5 都市と自然の魅力を日常的に享受できる圏域</p> <p>1. 都市と自然の魅力の結節 2. 高度な都市機能と良好な都市環境の確保 3. 地方における拠点機能の強化と連携 4. 農林水産業及び農山漁村の多面的機能の保持と活性化 5. 地域資源を活用した地域産業の形成・強化 6. 過疎地域等における集落の維持・再生</p>	
<p>6 人々が自律して快適で豊かに暮らせる高福祉圏域</p> <p>1. どこにいても基本的な生活サービスが享受できる環境の整備 2. 誰もが移動しやすい社会空間の形成 3. 安全・安心で魅力ある地域づくりの推進</p>	
<p>7 暮らし・産業を守る災害に強い安全・安心圏域</p> <p>1. 防災・減災対策の推進 2. アジア・太平洋地域の国際防災拠点の形成</p>	

主要プロジェクト

1 文化首都圏プロジェクト	P9・10
2 関西の魅力巡りプロジェクト	P11・12
3 次世代産業を創造する「知の拠点」プロジェクト	P13
4 大阪湾ベイエリア再生プロジェクト	P14
5 広域物流ネットワークプロジェクト	P15・16
6 CO ₂ 削減と資源循環プロジェクト	P17・18
7 水と緑の広域ネットワークプロジェクト	P19・20
8 関西を牽引する賑わい創出プロジェクト	P21
9 農山漁村活性化プロジェクト	P22
10 広域医療プロジェクト	P23
11 広域防災・危機管理プロジェクト	P24

1 文化首都圏プロジェクト



- 日本を代表する資源である「本物」を大事にし、まちづくり、ひとづくりに活かし、新たな「本物」を産み出す風土を醸成
- 関西の特色ある資源を活かした広域的な取組を展開し、「本物」の魅力や美しさを国内外に発信し、「本物」を求め訪れる人を増加
- これにより、我が国を牽引する文化首都圏(多様で厚みのある文化の集積を活かして、我が国を代表し、牽引する役割を担う圏域)を形成

「関西ブランド」の創造

「ほんまもん宣言(仮称)」の策定

「ほんまもん宣言」に即した地域発意の取組を選定・支援

関西ブランド「ほんまもん」の国内外への戦略的情報発信

「関西の本物」=「ほんまもん」を活かした多様な主体による地域の取組事例

800年の歴史・文化 日本茶の原点 [京都府山城地域]

宇治茶を通じたまちづくりを展開



日本茶の原点 宇治茶の郷の茶畑

宇治茶を通じた和の文化の継承と「お茶する生活」の実現

つくる 癒される 味わう 楽しむ 学ぶ

- 豊富な茶葉の生産
- 匠の技による生産、仕上加工
- 宇治茶、茶そば
- 茶団子、日本茶カフェなど
- 山なり茶園の風景「かおり風景100選」
- 800年の歴史遺産
- 資料館、記念館など
- お茶祭りなどのイベント
- 茶摘み体験、新茶体験

出典：京都市山城広域振興会

醤油発祥の地 [和歌山県湯浅町]



重要伝統的建造物群保存地区

醤油産業

醤油発祥地と歴史的街並みを活かし、全国醤油サミットを開催

出典：湯浅町観光協会

世界に類を見ない水・生活文化 [滋賀県高島市]



比良山系の伏流水が湧き出す針江地区の清流

先人の知恵が生んだ生態系を活かした水浄化システム「かばた」

勉強する場、癒しの場として、積極的にまちづくりを展開

出典：(社)びわ湖高島観光協会

コウノトリとの共生 [兵庫県豊岡市]



コウノトリの保全活動

出典：兵庫県立コウノトリの郷公園

無農薬農法等によりコウノトリの良質な餌を確保

出典：JAたじま

無農薬農法の米や酒をブランド化、販売増

出典：豊岡市

出典：コウノトリ本舗

記念行事を契機とした「本物」の活用・創造

源氏物語千年紀を契機としたまちづくり



源氏物語ミュージアム

出典：源氏物語ミュージアム



朝霧橋

出典：宇治市商工観光課

平城遷都1300年を契機としたまちづくり



朱雀門

出典：奈良市観光協会



ならまち

出典：奈良市観光協会

歴史を活かしたまちづくり

歴史的建造物(町家)の復原・修理



出典：京都市

伝統的行事の継承等



徳園祭

出典：財団法人祇園祭山鉦連合会

岸和田たんじり祭

出典：岸和田市観光振興協会

大規模地震等から「本物」の保全

文化財保全のための防災訓練



上賀茂神社

醍醐寺

二宮城

出典：京都市消防局

2 関西の魅力巡りプロジェクト

- 関西各地に長期滞在型観光にも対応しうる魅力的な観光資源を創出
- 広域観光ルートを整備し、複数の観光地を組み合わせた広報・旅行商品化を図る「広域ツーリズム」を展開
- 旅行者の利便性を圏域全体で高めるとともに、観光のプロモーション活動を関西共同で展開

関西各地に魅力的な観光資源を創出

彦根市や高野山のように観光資源を核に街全体の修景を図る「まちごと観光資源」をはじめ、歩いて楽しめる散策道の魅力高め、エンターテインメントと地域の観光資源を組み合わせるなど、新たな観光資源を開発し、地域全体の魅力づくりを推進します。

「まちごと観光資源」創出の取組事例

彦根市



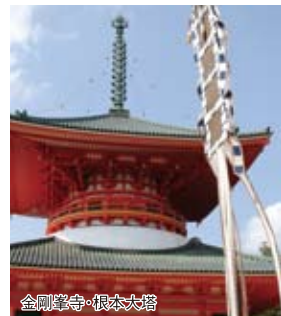
核となる観光資源 出典：彦根市

ユビキタスの観光案内、
特産品の販売、
食文化の継承など



沿道の修景 出典：(社)彦根観光協会

高野山



核となる観光資源



沿道の修景、歩きやすい歩道の整備



まちかどに休憩所を設置



外国語の観光案内板を設置 出典：和歌山県高野町

観光利便性の向上と広域連携によるプロモーション

誰もが不自由なく関西観光を楽しめる環境整備

外国人によるひとり歩き点検隊

外国人が不自由なく関西観光を楽しめるよう、主要ターミナル駅等の案内表示について、点検を実施。案内の多言語化等により、外国人がひとり歩きできる観光整備を推進します。



出典：近畿運輸局

福祉サービスと旅行業の連携

福祉サービスと旅行業の連携を図り、障害者等が不自由なく観光を楽しむための取り組みを推進します。



出典：NPO法人ウィズアス

多様で魅力ある広域観光ルートの形成

広域観光ルートの事例

山陰海岸ジオパーク



山陰海岸の貴重で美しい地質遺産を活用 出典：山陰海岸ジオパーク推進協議会

京都府丹後観光圏



琴引浜 宿泊施設・観光資源の魅力向上や京都縦貫自動車道の整備など利便性を向上 出典：京都府丹後観光圏協議会

びわ湖・近江路観光圏

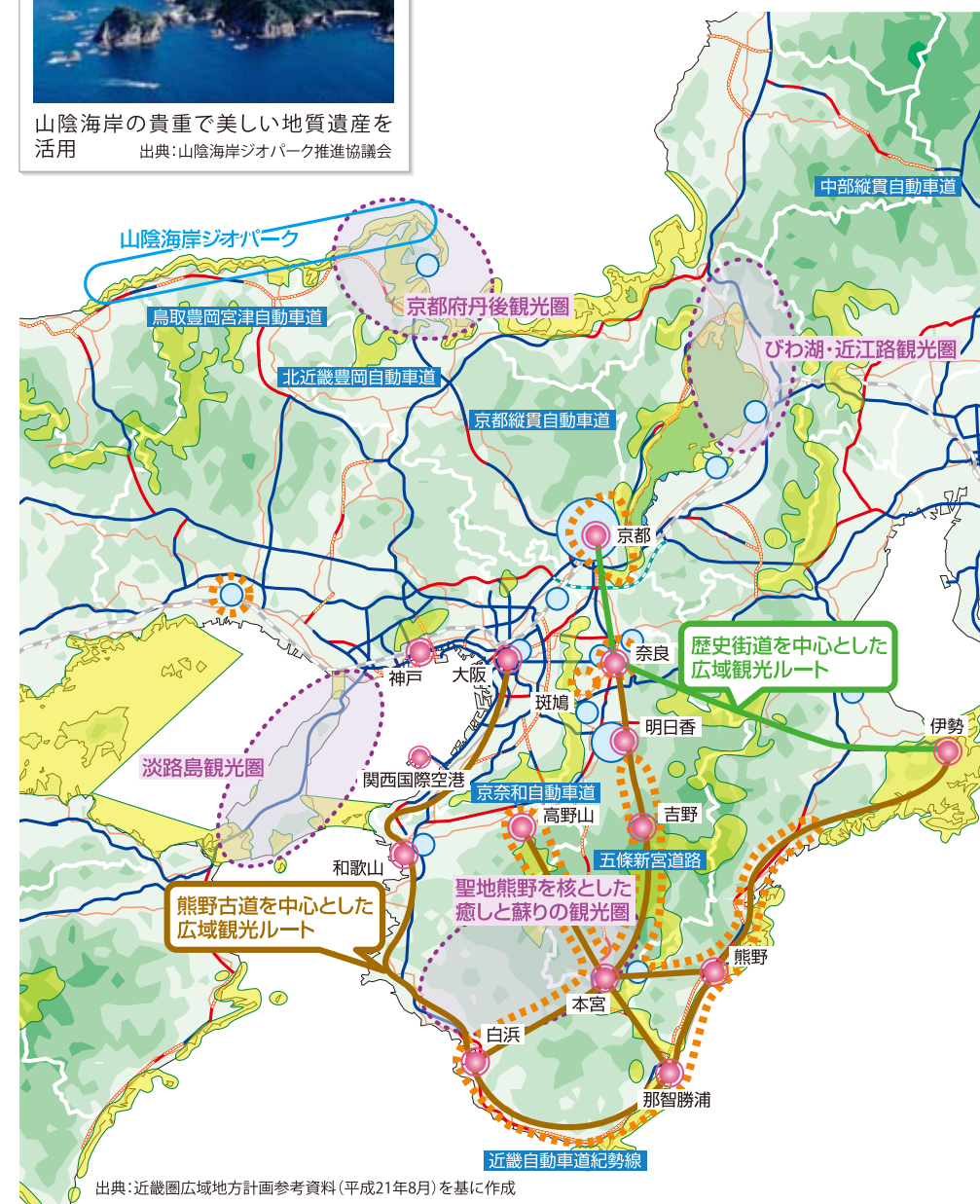


八日市大坂 着地型観光の魅力向上、高速道路を活用した誘客 出典：びわ湖・近江路観光圏協議会

聖地熊野を核とした癒しと蘇りの観光圏



小辺路 域内交通の整備や街なみ環境整備による魅力向上 出典：聖地熊野を核とした癒しと蘇りの観光圏協議会



淡路島観光圏



淡路島の魅力 食の魅力向上や全島統一の案内表示を整備 出典：淡路島観光圏協議会

【凡例】

- 国立・国定公園
- 世界文化遺産
- 特別名勝・特別史跡
- JR
- 東海道・山陽新幹線
- 高規格幹線道路及び地域高規格道路
- 供用中
- 事業中
- 調査中・計画路線
- 当面着工しない区間

瀬戸内海クルーズ



瀬戸内海各地に点在する観光資源を結ぶ 出典：日本クルーズ客船株式会社

③ 次世代産業を創造する「知の拠点」プロジェクト

- 才能ある人材が集まる拠点地区や広域連携による拠点を、関西の「知の拠点」として構築
- 次世代産業を担う人材の定着と利便性の向上のための環境整備
- 新たな産業の芽の創出による環境変化に強い産業構造への変革

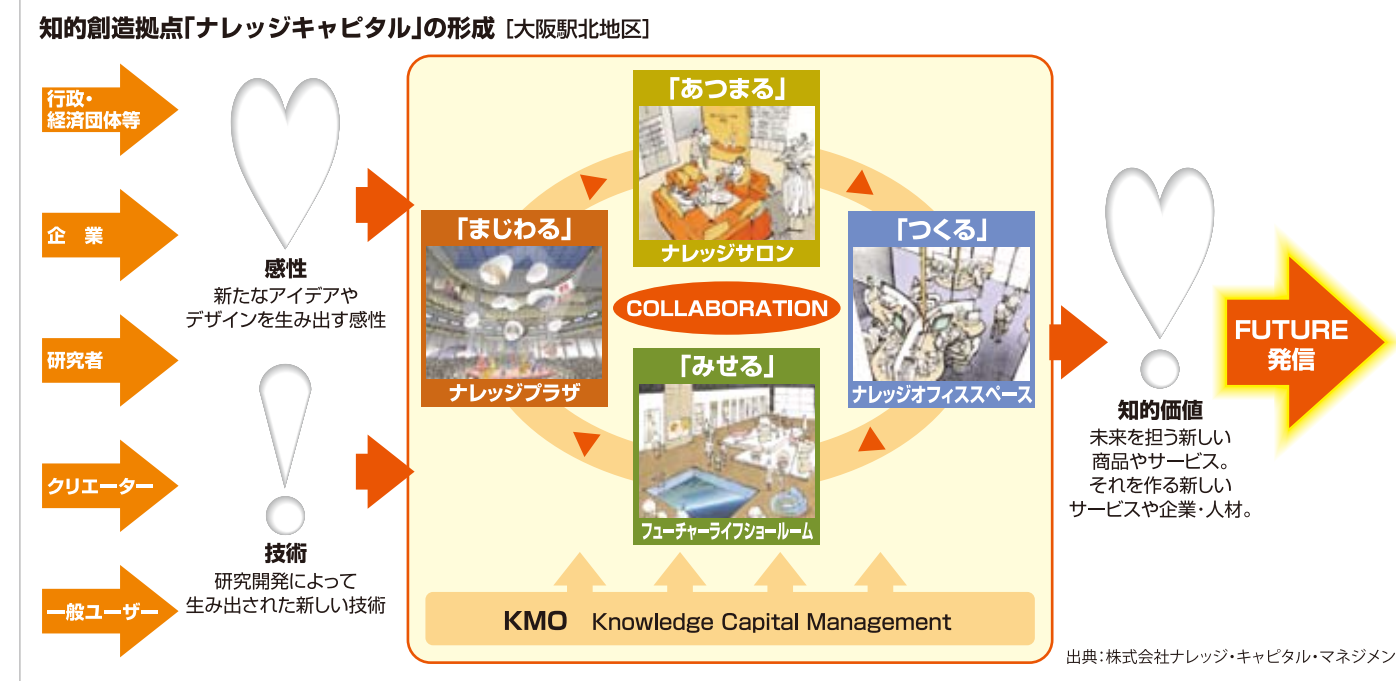
世界に冠たる次世代産業の育成

次世代産業育成の取組



次世代産業を担う人材の育成・集結

次世代を担う人材育成

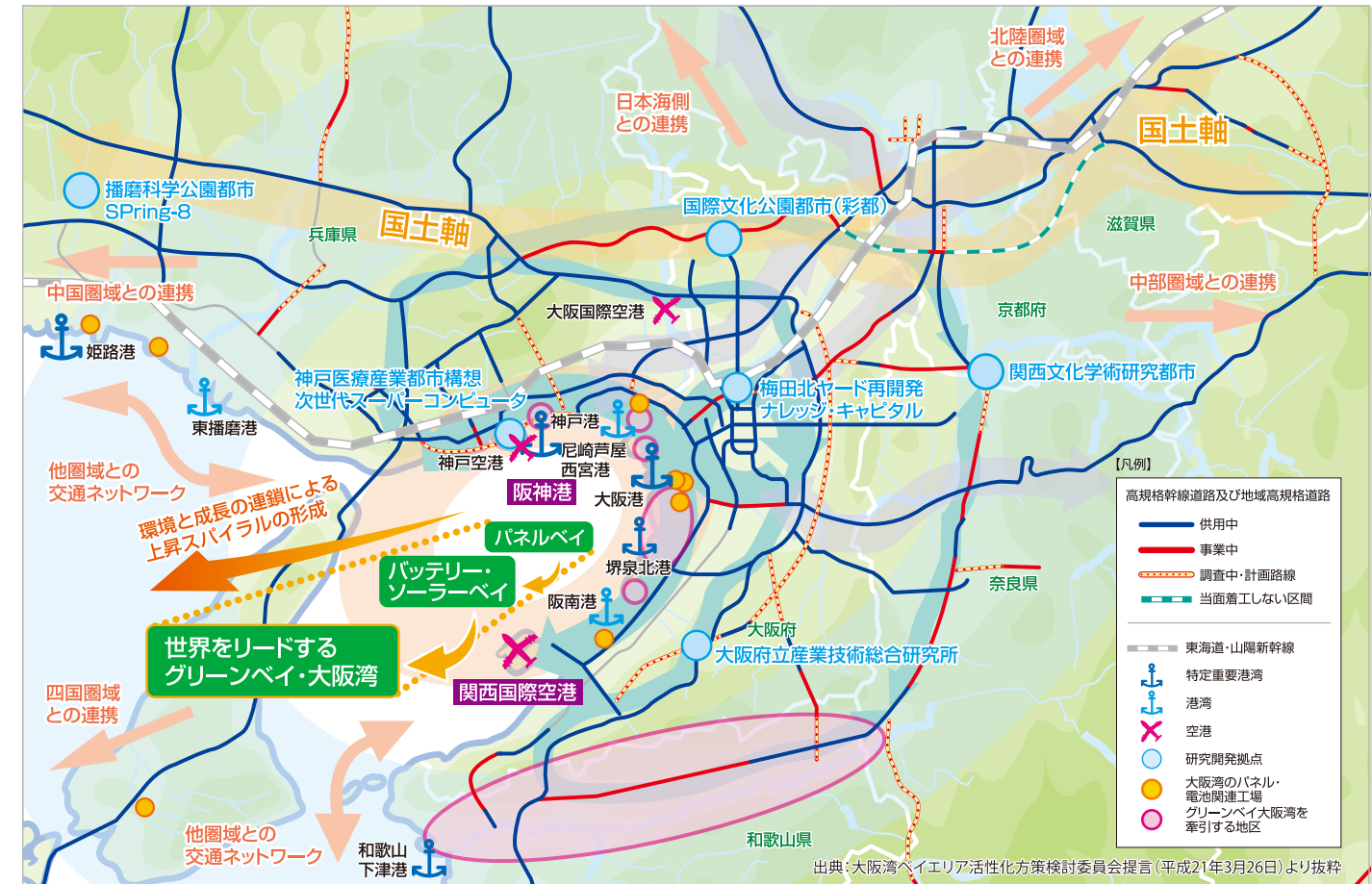


④ 大阪湾ベイエリア再生プロジェクト

- 大阪湾ベイエリアを環境・エネルギー産業が集積し成長する産業拠点、港湾・空港機能と一体となった物流拠点として充実
- 臨海部の特性を活かした快適性の高い空間を創出し、関西だけでなく隣接圏域をも牽引する強く美しい地域を形成

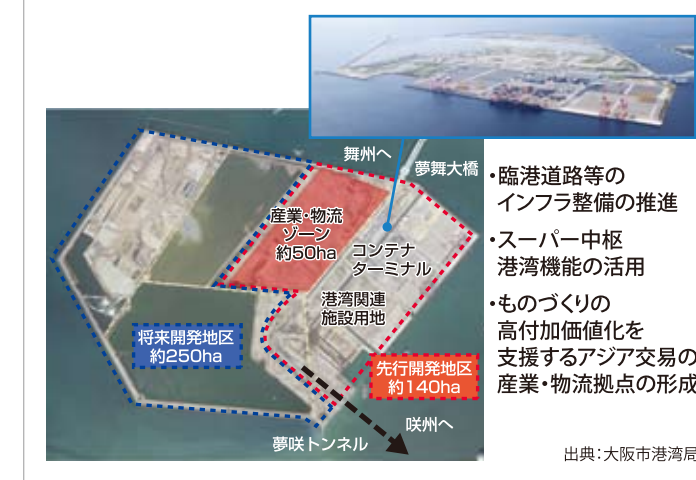
「グリーンベイ・大阪湾」の実現

世界をリードする「グリーンベイ・大阪湾」



産業・物流機能の集積促進

夢洲地区のまちづくり



臨海部の特性を活かした快適空間の創出

尼崎21世紀の森構想



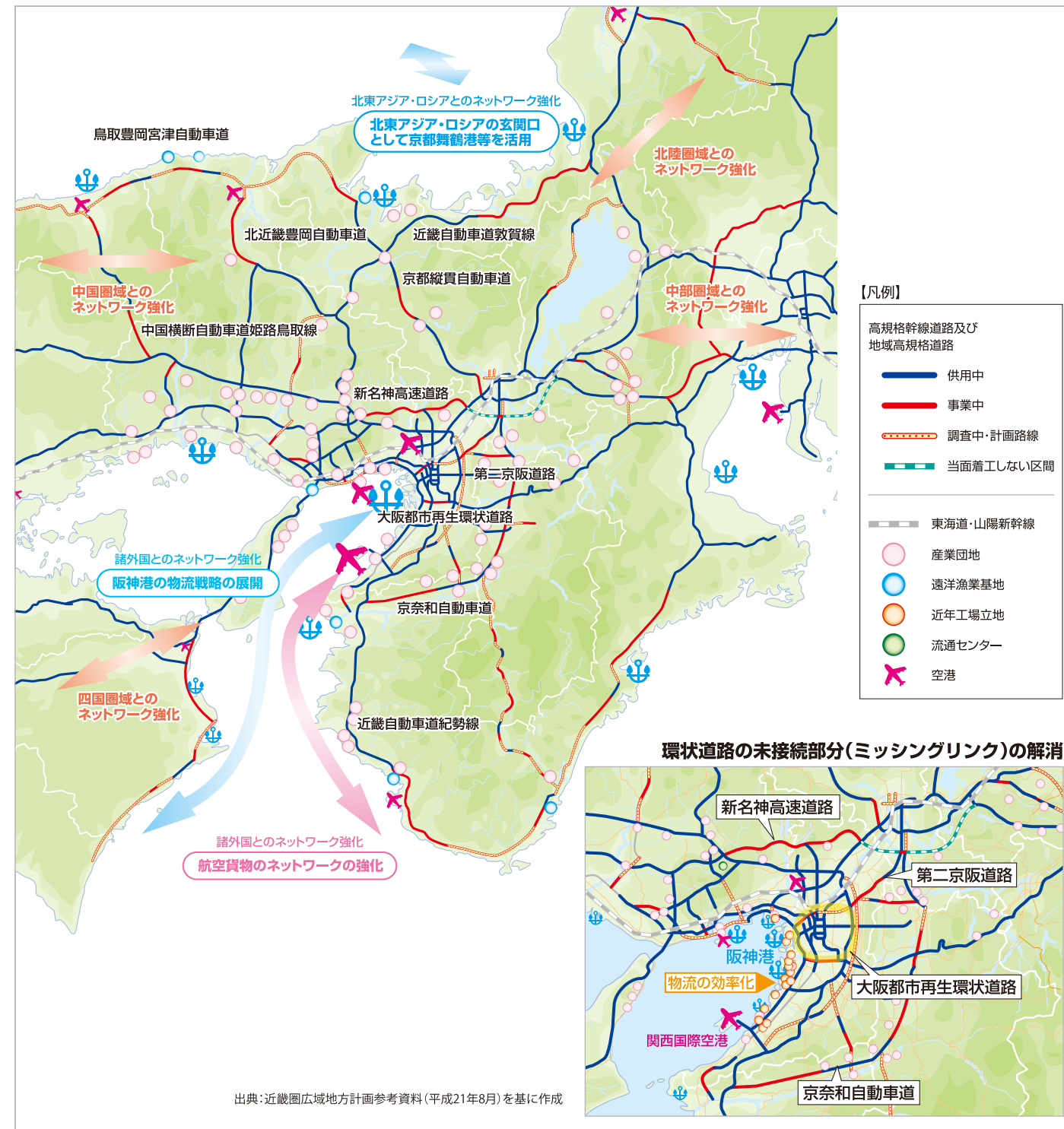
5 広域物流ネットワークプロジェクト

- 物流に要する時間・費用の縮減により国際競争力を強化するため、圏域内外を結ぶ陸・海・空の広域的交通網を総合的に構築
- 阪神港や関西国際空港等を中心とした港湾・空港機能の充実とともに、港湾・空港運営を効率化
- 関西が持つ高度かつ多様な集積をつなぐことにより、総合的な競争力を一層向上

産業・物流拠点をつなぐ物流網の強化

産業・物流拠点や港湾・空港を結ぶ道路を整備し、関西の環状道路のミッシングリンク(未接続)を解消するとともに、道路網と鉄道網の結節点の強化、広域交通機能を確認する高速道路の整備、連携・連絡を強化します。

物流網強化



港湾・空港機能の強化

阪神港の整備促進と港湾機能の強化

目標:世界トップクラスの低コスト・スピード・サービスの実現
 港湾コスト:現状より約3割低減
 リードタイム:現状3日程度を1日程度まで短縮
 (物流先進都市・シンガポール港と同レベル)

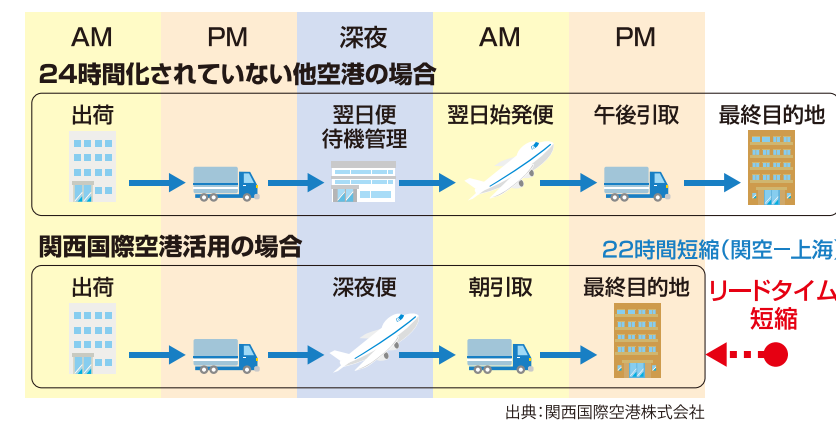
神戸港



大阪港



関西国際空港の早朝便を活用したリードタイムの短縮



環日本海地域を活かした物流機能の強化

京都舞鶴港の活用

関西経済圏における日本海側のゲートウェイである京都舞鶴港においては、北東アジア及びロシアとの近接性を活かし、対岸貿易の拠点として活用します。



⑥ CO₂削減と資源循環プロジェクト

●CO₂排出量削減に向けた広域的な取組を、産・学・官・民が一体となって推進

●3Rによる適正な資源循環の推進や広域連携による廃棄物処理などを推進

産・学・官・民一体となったCO₂削減の推進

環境モデル都市等の先駆取組の推進

クールシティ・堺



堺第7-3区太陽光発電所(仮称)最終完成予想図 出典:関西電力(株)



街なかを乗り継げるレンタルサイクル 出典:堺観光コンベンション協会

DO YOU KYOTO? 環境モデル都市・京都



「歩いて楽しいまちなか戦略」社会実験【実験前】



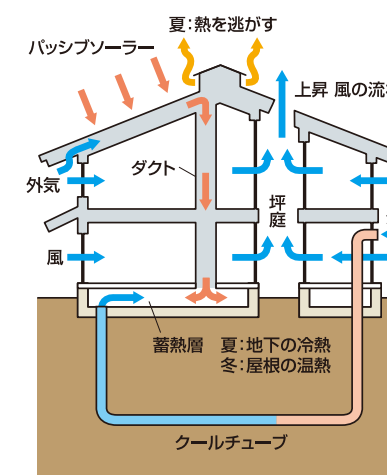
「歩いて楽しいまちなか戦略」社会実験【実験中】 出典:京都市都市計画局

ライフスタイルの変革



環境家計簿(イメージ)

「木の文化を大切にすまち・京都」戦略

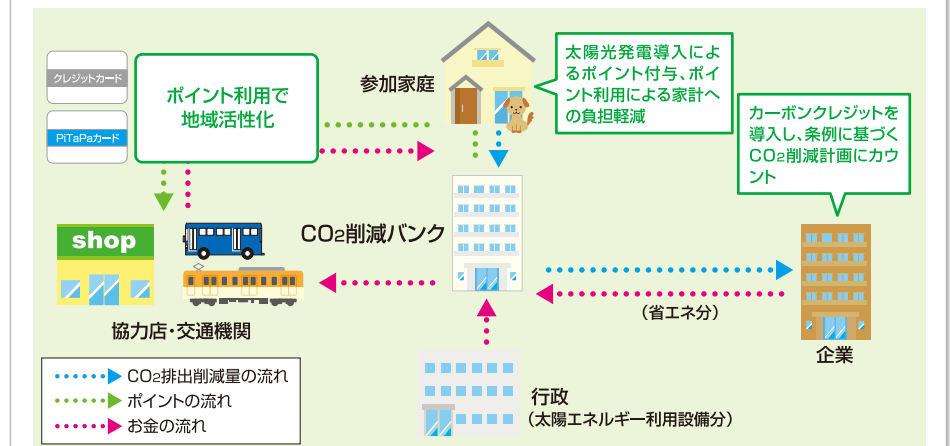


モデル建築物「平成の京町家」(イメージ) 出典:京都市総合企画局

地球・家庭・地域・企業みんながトクするシステム

家庭からのCO₂排出量削減の取組

家庭からのCO₂排出量増加を抑制するため、「エコポイント」(買物の割引特典)の導入により、家庭での省エネルギー商品・サービスや新エネルギー利用商品・サービスの購入を促進します。



企業からのCO₂排出量削減の取組

企業の森林整備等によるカーボンオフセット(*)やCSR(企業の社会的責任)の取組を促進し、環境意識の向上を図る取組の拡大を検討します。



適正な資源循環の推進

取組事例

菜の花エコプロジェクト [滋賀県東近江市(旧愛東町)]



地域資源から得たエネルギーを地域内で利用する資源循環型の地域づくりの取組で、全国に広がっています。 出典:あいうエコプラザ菜の花館

こうべバイオガスを活用した市バス



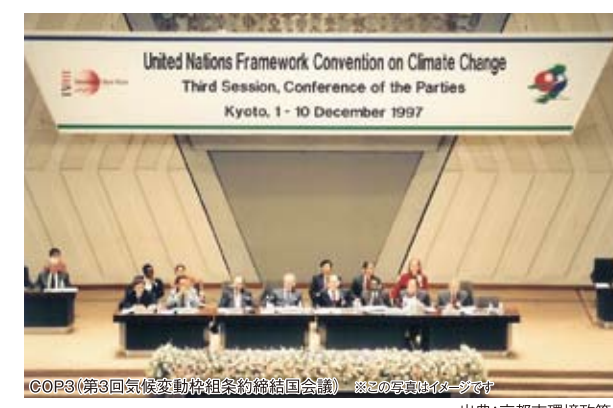
下水道汚泥由来のメタンガスを、自動車燃料への導入する取組を普及拡大させます。 出典:神戸市

CO₂削減に向けた「フォーラム」の開催

関西の行政、民間団体、NPO等が参加し、CO₂排出量削減に向けた取組の情報共有や、CO₂の削減状況の把握を行い、先進的取組の広域展開や関係機関の共同方策等について議論するための場として、「フォーラム」を開催します。またそれぞれの取組への反映や、国内外への発信を行う広域組織の設置も検討します。



G8環境フェア ※この写真はイメージです 出典:兵庫県



©OP3(第3回気候変動枠組条約締結国会議) 出典:京都市環境政策局

「DO YOU KYOTO?」とともに
「DO YOU KANSAI?」として
認知される環境先進圏域へ

7 水と緑の広域ネットワークプロジェクト

- 流域圏・海域が一体となって、大阪湾や琵琶湖・淀川流域圏等の水環境の再生のための対策を推進
- 紀伊半島や北近畿等の豊かな森である「緑のヒンターランド」を保全・再生し、水と緑のつながりを圏域全体で構築
- 人と自然のふれあいの確保とともに、水文化を継承

大阪湾・琵琶湖等の水環境の再生、人と自然のふれあいの確保

内湖、ワンド、ヨシ原の保全・再生や、水田等農地の生態系機能の回復、河川浄化や下水道の高度処理の推進といった水環境の再生を図り、アマモの増殖活動や干潟・藻場の造成など豊かな里海の再生・保全に取り組みます。

大阪湾・琵琶湖等での各種取組事例

閉鎖性水域の環境改善による水産資源の回復



森林の維持・保全



琵琶湖・淀川流域圏再生 大阪湾再生

瀬戸内海里海再生

瀬戸内海における里海の保全



人と河川つながり回復



水質の改善



生態系の保全・再生



「緑のヒンターランド」の保全と「都市の森」の創生

北近畿や紀伊山地などの大規模な森林を保全するため、住民、NPO、企業、行政の協働による植林、間伐に取り組むとともに、京阪神都市圏の緑の創生に向けた大規模緑地の整備や沿道空間の緑化、屋上・壁面や校庭の緑化を推進します。

「緑のヒンターランド」の保全に向けた各地の取組事例

緑のヒンターランド:京阪神都市圏の背後地となる紀伊山地や北近畿等の豊かな森林



琵琶湖森林づくり基本計画 里山リニューアル事業



「企業の森」育成支援事業



生物の移動経路の連続性や まとまりのある緑地の確保に に向けた取組



淀川河川公園

里山林機能回復整備事業



8 関西を牽引する賑わい創出プロジェクト

- 各大都市が、それぞれの有する個性や強みを活かし、関西の成長を牽引する賑わい機能を確保・強化
- 都市居住や都市環境の整備を推進するとともに、新たな人の流れを創出する地方都市の拠点機能と交通網を充実強化

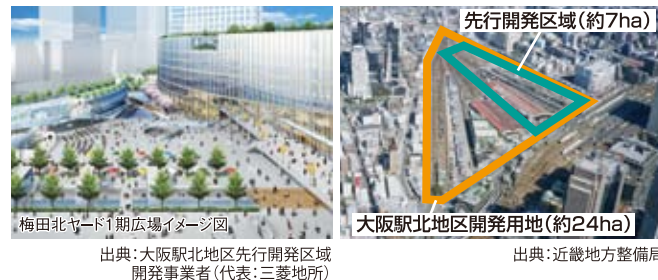
都市の賑わいの確保・強化

新たな賑わいを創造する「水都大阪」の取組事例

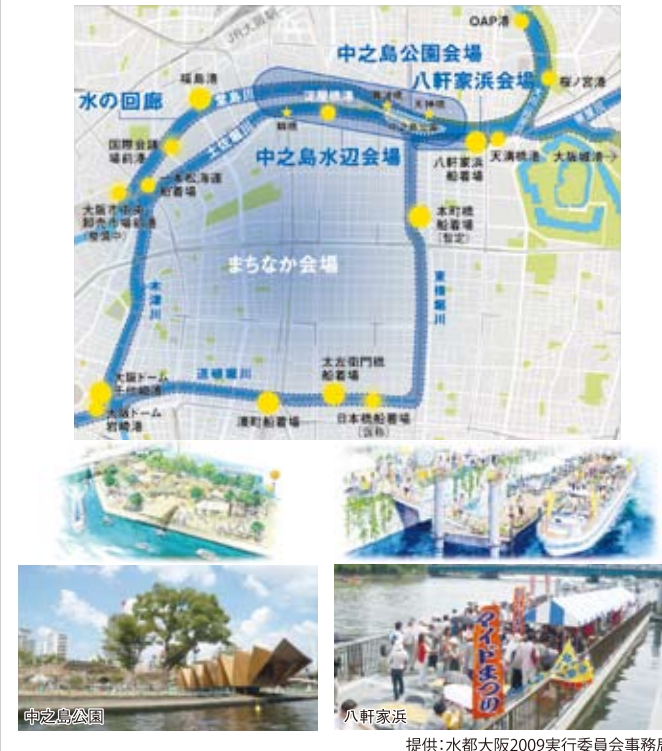
地域主導による活性化の取組例



関西の交流・情報発信等中枢拠点にふさわしい機能と風格、水と緑があふれた空間の整備



水都大阪2009を契機とした文化活動やまちづくりの展開



新たな魅力と活力を創造する「デザイン都市・神戸」

歴史的建造物を活用した創造・交流拠点の形成



都心とウォーターフロントの回遊性の向上



無電柱化前



無電柱化後



京都らしい歴史的環境形成の推進「無電柱化」

なにわ筋線のイメージ図



9 農山漁村活性化プロジェクト

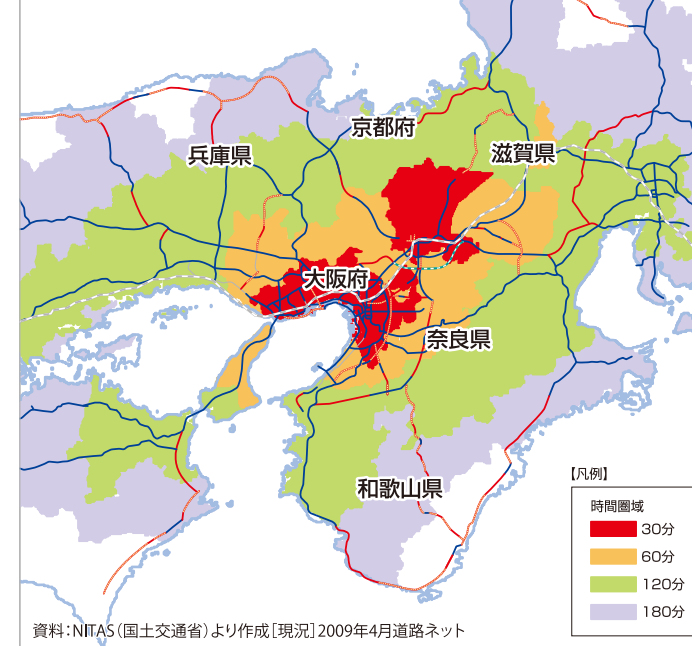
- 都市と農山漁村との共生・対流を推進
- 地域資源の再発見と高付加価値化等を推進することにより、農山漁村を活性化
- 地方のどこに住んでも都市的サービスが受けられる持続可能な地域構造へ転換、農林水産業等の多面的・公益的機能を確保

都市・農山漁村交流圏の拡大

滞在型市民農園など都市と農山漁村との交流を紹介するポータルサイトの構築の検討をはじめ、これらの交流や農水産品の流通を拡大する交通基盤の強化、都市住民の受入体制や環境の整備、若者の関心呼び込むプロジェクトを推進します。

都市圏と関西の南北地域を結ぶ高規格幹線道路等の必要な整備を推進

京都市・大阪市・神戸市からすべての移動手段で3時間以内に移動できる市町村域



子ども農山漁村交流プロジェクト



滞在型市民農園



広域連携を通じた農山漁村資源の活用

関西各地の農林水産物の重点化を図り、アジアを中心に世界への輸出を推進します。また、村が運営するログシステムを通じて全国各地との連携や、伝統地場産業を活かした京阪地域の学生との交流などに代表される、広域連携による地域力向上に取り組めます。



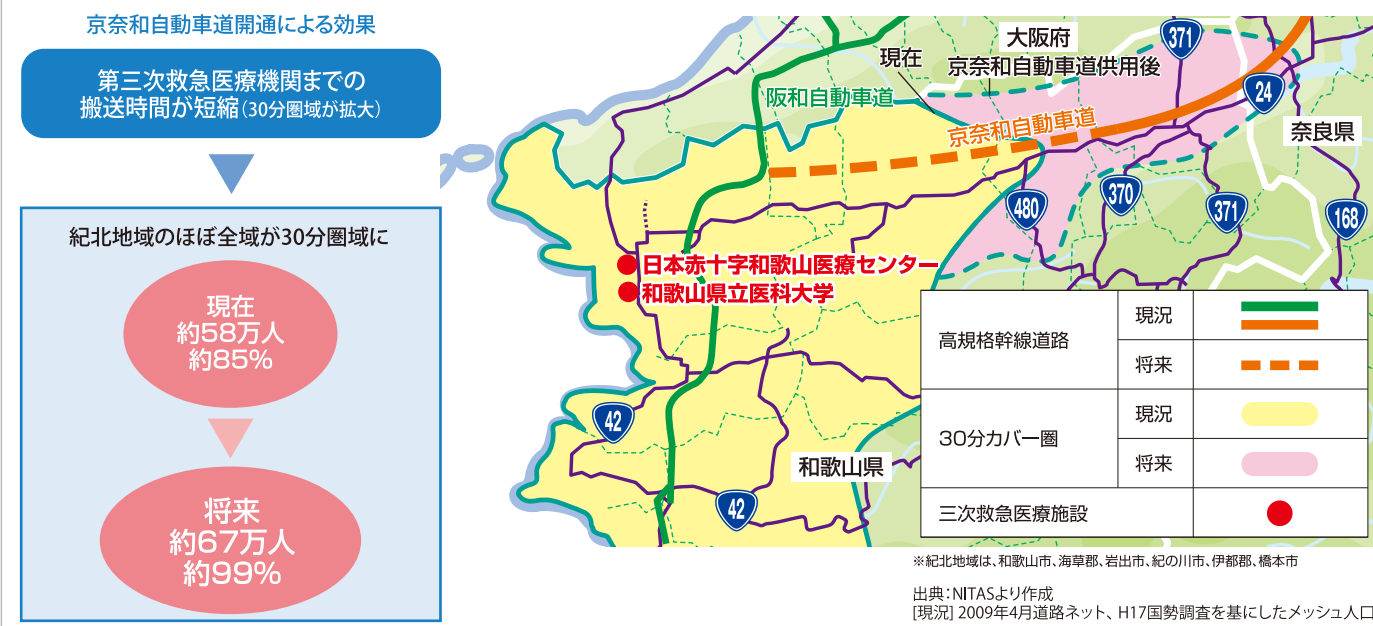
10 広域医療プロジェクト

- 関西のどこに住んでいても早期に救急医療が受けられる体制を確立
- 府県の区域を超えた広域連携により医療を高度化・高質化

救急医療30分圏域の実現

救急医療30分圏域に向けた取組

高規格幹線道路整備による搬送時間の短縮・搬送圏域の拡大



ドクターヘリを活用した搬送時間の短縮・搬送圏域の拡大

- ドクターヘリ基地病院の拡大(公立豊岡病院(兵庫県)で予定あり)
- ドクターヘリ共同利用における府県間協定締結の拡大
- ドクターヘリの環境整備
 - ・着陸場所の確保
 - ・夜間飛行の確立 等



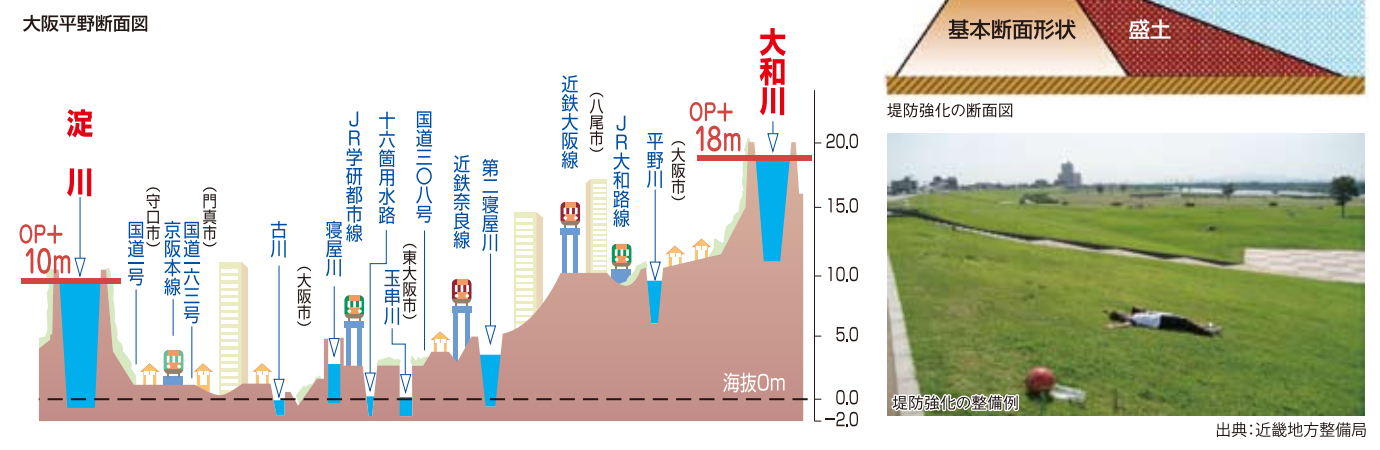
11 広域防災・危機管理プロジェクト

- 様々な自然災害に対応し、暮らしや産業等に与える被害を軽減するため、防災・減災対策を講じる
- 様々な自然災害に対応した危機管理体制を構築

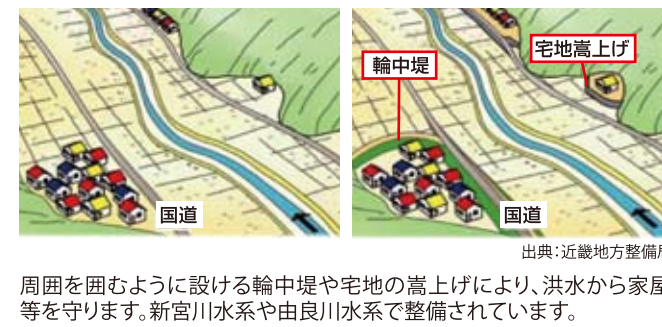
戦後最大規模の洪水・高潮等への対応

洪水・高潮等への対応に向けた取組事例

堤防の強化



輪中堤の整備・宅地の高上げ



危機管理体制の確立



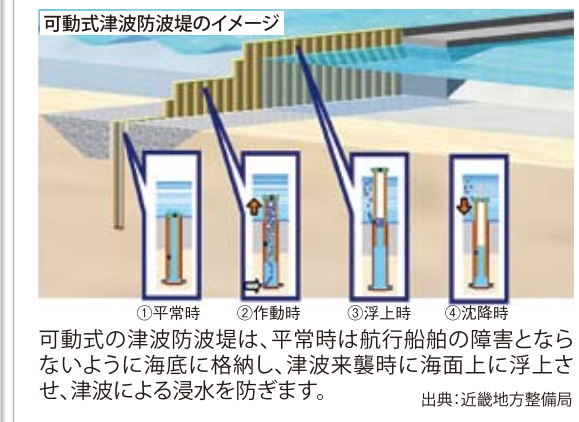
東南海・南海地震等大規模地震への対応

大規模地震への対応に向けた取組

緊急輸送道路の整備・耐震性の向上



津波浸水対策【和歌山下津海岸海南地区】

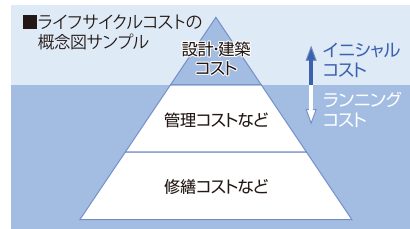


計画の効果的推進

近畿圏広域地方計画の着実な実行に向けては、地域特性を踏まえた重点的かつ効率的な国土基盤の投資が重要です。このため、国と地方、官と民の多様な主体との協働・連携はもとより、隣接圏域の広域地方計画や、国土利用に関する各計画、各自治体の総合計画、近畿ブロックの社会資本の重点整備方針などとの緊密な連携を図ります。また、プロジェクトの進捗状況の確認や評価、見直しを行うことで、計画を効率的、効果的に実現します。

1 投資の重点化・効率化

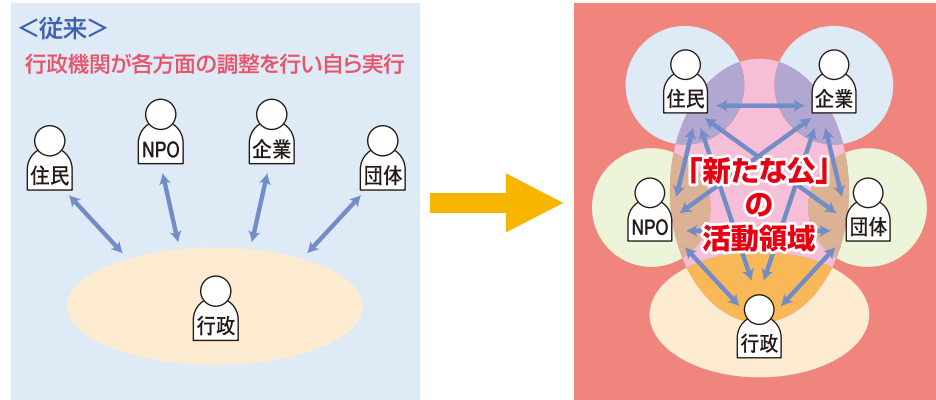
公共施設の整備状況や財政事情などを踏まえ、重点的な国土基盤投資を推進します。あわせて、事業間の連携、建設コストの縮減、地域特性に応じたローカルルールを適用し、投資の効率化を図ります。また、国土基盤ストックの管理・運営には民間部門の資産管理手法などを取り入れ、ライフサイクルコストを最小化します。



ライフサイクルコスト (LCC) とは設計、製造、使用、廃棄までを捉えた費用のこと。建築費などの初期費用は一部にすぎず、修繕等の維持管理費がLCCの大きなウエイトを占めるため、設計や計画が特に重要視されている。コスト削減にあたっては、管理が容易な設計を行う、長寿命化の推進などがある。

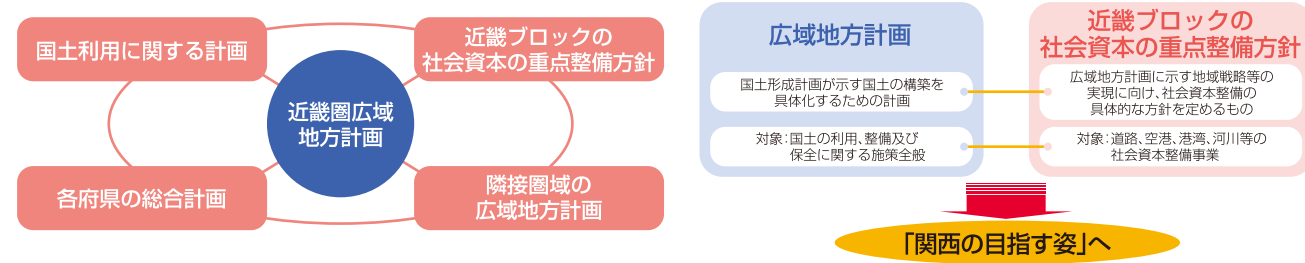
2 多様な主体の参加と協働

近年、個人・NPO・企業等において、社会への貢献を通じて満足度を高めようとする意識が高まり、民間主体の活動領域は多様化しています。そこで、このような多様な民間主体を地域づくりの担い手ととらえ、行政との協働・連携を図り、「新たな公」とも言うべき考え方による地域づくりを推進します。また、関係機関相互間の協定締結、協議会などの広域連携組織の設置、広域自治組織の設立などを進め、最も適切かつ効果的な体制を選択できるように留意します。



3 他の計画・施策との連携

隣接圏域の広域地方計画をはじめ、国土利用に関する計画や各府県の総合計画などの各種中長期計画との整合を図り、連携を強化します。特に近畿ブロックの社会資本の重点整備方針とは「車の両輪」となって、「関西の目指す姿」を実現します。



4 計画の進捗状況の把握

近畿圏広域地方計画協議会構成員の連携の下、毎年度、本計画のモニタリングを行います。進捗が遅れている都市部を含めた地籍調査の実施やGIS（地理情報システム）の利活用など関西における国土情報の整備・利活用を図りつつ、各プロジェクトの進捗状況を検証し、課題等への対応を検討します。これらのモニタリングの結果や全国計画に関する政策評価の結果などに応じ、個々の施策・プロジェクトや本計画の見直しを行うなど、必要な措置を講じます。

計画策定までの経緯

- 平成18年
 - 6月 9日 関西広域連携協議会、近畿広域戦略会議の合同会議 開催
 - 12月 19日 「近畿圏広域計画検討会議」設立準備会 開催
 - 26日 第1回近畿圏広域計画検討会議 開催
- 平成19年
 - 3月 9日 第1回国土形成計画シンポジウム 開催
 - 4月 1日 近畿圏広域地方計画推進室設置(整備局・運輸局)
 - 11日 「近畿圏広域計画検討会議」第1回幹事会 開催
 - 16日 「近畿圏広域計画検討会議」第2回幹事会 開催
 - 19日 第1回近畿圏広域計画学識者会議 開催
 - 5月 11日 「近畿圏広域計画検討会議」第3回幹事会 開催
 - 23日 第2回近畿圏広域計画学識者会議 開催
 - 6月 8日 「近畿圏広域計画検討会議」第4回幹事会 開催
 - 15日 第2回近畿圏広域計画検討会議 開催
 - 7月 18日 「近畿圏広域計画検討会議」第5回幹事会 開催
 - 8月 29日 「近畿圏広域計画検討会議」第6回幹事会 開催
 - 9月 25日 「近畿圏広域計画検討会議」第7回幹事会 開催
 - 10月 12日 「近畿圏広域計画検討会議」第8回幹事会 開催
 - 22日 第3回近畿圏広域計画検討会議 開催
- 平成20年
 - 2月 8日 「近畿圏広域計画検討会議」第9回幹事会 開催
 - 28日 「近畿圏広域計画検討会議」第10回幹事会 開催
 - 3月 5日 第3回近畿圏広域計画学識者会議 開催
 - 14日 「近畿圏広域計画検討会議」第11回幹事会 開催
 - 4月 16日 「近畿圏広域計画検討会議」第12回幹事会 開催
 - 30日 「近畿圏広域計画検討会議」第13回幹事会 開催
 - 5月 13日 第4回近畿圏広域計画検討会議 開催
 - 7月 4日 国土形成計画(全国計画)の閣議決定
 - 8月 13日 近畿圏広域地方計画協議会 設立
 - 25日 「近畿圏広域地方計画協議会」第1回幹事会 開催
 - 10月 6日 「近畿圏広域地方計画協議会」第2回幹事会 開催
 - 21日 第1回近畿圏広域地方計画協議会 開催
 - 中間整理 とりまとめ
 - 11月 27日 第4回近畿圏広域計画学識者会議 開催
- 平成21年
 - 3月 26日 「近畿圏広域地方計画協議会」第3回幹事会 開催
 - 4月 1日 市町村による計画提案
 - 6月 1日 「近畿圏広域地方計画協議会」第4回幹事会 開催
 - 10日 第2回近畿圏広域地方計画協議会 開催
 - 11日 パブリックコメント 実施
 - 7月 2日 第5回近畿圏広域計画学識者会議 開催
 - 8月 4日 国土交通大臣による近畿圏広域地方計画の決定



第3回近畿圏広域計画検討会議



第4回近畿圏広域計画検討会議



第4回近畿圏広域計画学識者会議



第1回近畿圏広域地方計画協議会

- 協議会構成機関
 <府県> 福井県 岐阜県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 鳥取県 岡山県 徳島県
 <指定都市> 京都市 大阪市 堺市 神戸市
 <市町村> 近畿市長会 近畿ブロック府県町村会
 <経済団体等> (社)関西経済連合会 大阪商工会議所 (社)関西経済同友会 京都商工会議所 堺商工会議所 神戸商工会議所 関西広域機構
 <国の地方支分部局> 近畿管区警察局 総務省近畿総合通信局 財務省近畿財務局 厚生労働省近畿厚生局 農林水産省近畿農政局 林野庁近畿中国森林管理
 経済産業省近畿経済産業局 経済産業省中国経済産業局 国土交通省近畿地方整備局 国土交通省中部地方整備局
 国土交通省中国地方整備局 国土交通省近畿運輸局 国土交通省神戸運輸監理部 国土交通省大阪航空局 気象庁大阪管区気象台
 海上保安庁第五管区海上保安本部 海上保安庁第八管区海上保安本部 環境省近畿地方環境事務所
- 学識者委員(50音順 敬称略) ※計画策定時の所属等
 石森 秀三(北海道大学観光学高等研究センター長・教授) 大石 久和(東京大学大学院情報学環 特任教授) 小田 章(和歌山大学 学長)
 川勝 平太(元 静岡文化芸術大学 学長) 河田 恵昭(関西大学環境都市工学部 教授・理事) 黒田 勝彦(神戸市立工業高等専門学校 校長)
 小浦 久子(大阪大学大学院工学研究科 准教授) 小林 潔司(京都大学経営管理大学院 教授) 齊藤 峻彦(近畿大学経営学部 教授)
 千田 稔(国際日本文化研究センター 教授) 玉岡 かおる(作家) 中瀬 勲(兵庫県立大学 教授) 狭間 恵三子(サントリーホールディングス株式会社大阪秘書室 課長)
 橋爪 紳也(大阪府立大学 特別教授) 横村 久子(京都女子大学現代社会学部 教授) 三野 徹(鳥取環境大学 教授) 宮川 豊章(京都大学大学院工学研究科 教授)